

【教育目標】 自らの可能性を信じ、努力することのできる生徒を育成する。
【一学校一改善】 ルールメイキング (継続) 先手あいさつ 一人一入賞

一年の計は元旦にあり

本日、2学期終業式を行いました。これまでも学校だよりなど各種通信等でお知らせしましたとおり、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、日々の授業は勿論のこと、体育大会や合唱コンクール等の学校行事や様々な体験活動などの教育活動を実践してまいりました。その中で、生徒一人ひとりの成長を見ることができたということは、大変うれしいことであり、保護者の皆様方のご理解とご協力があったからこそと思っています。本当にありがとうございました。

また、PTA会長をはじめとする役員の皆様方には、PTA活動の充実・推進にご尽力いただきました。厚くお礼を申し上げます。

さて、あと一週間程すれば、令和4年も終わり、新たな年がスタートします。この時期になるとよく言われていることの一つに、「一年の計は元旦にあり」という言葉があります。この言葉の由来は諸説ありますが、あの戦国大名「毛利元就」の言葉とされています。

「一年の計は元旦にあり」の言葉の意味は、「新しい一年の計画はその年の初めに、月の計画は月の初めに、今日の計画は朝早く立てなさい。」という意味です。

さらに「毛利元就」が言いたかったのは、元旦、月の初めの日、その日の早朝に計画を立てるだけはいけない。元旦、朔、鶏鳴からスタートし、計画を実行しなさいということです。

あと一週間で新しい年、令和5年となります。3年生だけでなくそれぞれが自分の夢実現にむけて、計画を立て、充実した冬休みを送ってくださることを期待しています。「一年の計のスタートは元旦にあり」です。



- 一年の計は春にあり
- 一月の計は朔(ついたち)にあり
- 一日の計は鶏鳴(一番鳥がなぐ早朝)にあり

「毛利元就」の言葉

第四十五期生徒会スタート

生徒会新聞12月号より

僕たち生徒会役員一同は、生徒一人一人が、西紫中学校は過ごしやすいなと思っていただけるよう全力を尽くしていきます。そのためには、皆さんの協力が必要不可欠です。西紫原中学校はワンチームで頑張っていきましょう！

四十五期生徒会では、四十四期までの素晴らしい伝統を引き継ぎ、さらによりよい生徒会を創ることを目指していきます。

